電力取引支援システム“BLEnDer”Trader

橋本博幸*
広瀬公一**
平野秀明*

Electricity Trading Transaction System “BLEnDer”Trader

Hiroyuki Hashimoto, Koichi Hirose, Hideaki Hirano

要　旨

2005年４月に運用開始された日本卸電力取引所（JEPX）では，現在３種類の商品（スポット商品，先渡定型商品，先渡非定型商品）が扱われている。市場参加者が，JEPXで電力取引を行う場合，取引所が規定するルールに則り一連の手順に従って各商品の取引プロセス（注文作成，注文入札，約定結果取得，清算決済など）を確実に履行する必要がある。

取引業務には，例えば，次のような特徴がある。

(1) 複数の電力供給エリアに展開する事業者は，各エリアの自社供給能力／調達契約を考慮して注文内容を検討し作成する必要がある。

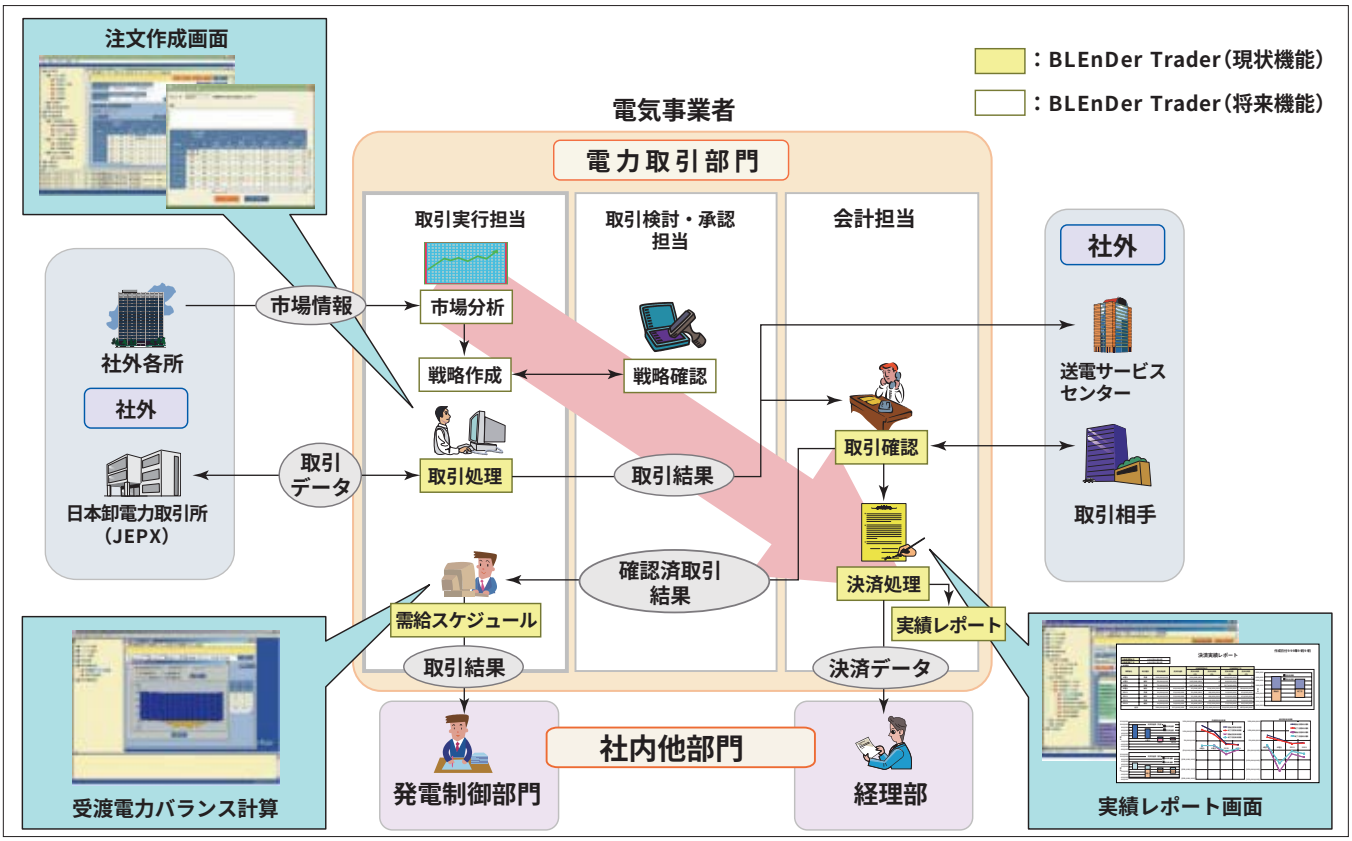
(2) 注文入札時にはスポット取引締切り時刻の厳守や先渡取引における時間優先の概念があり，１つ以上の注文データを同時に管理し速やかな入札行動が求められる。

(3) 需要と供給のバランス維持が不可欠な電力の性質上，市場参加者は取引結果として発生する電力受渡しにより物理的制約を受けるため，不正／誤入札は事業上回避しなければならない。

(4) 約定結果を含む重要な取引所公開データには配布期限があるため，欠損なく適時取得し保存することが不可欠である。

このように同時に複数の商品取引情報を正確・迅速に処理することが要求される取引業務は，取引業務担当者にとって負荷の高い複雑な業務となる。

本稿では，上記の複雑な取引プロセスを管理し，運用者の負荷軽減／ミス防止を目的とした電力取引支援システム“BLEnDer”Traderの開発内容について述べる。また，今後のシステム開発の展開についても述べる。



電力取引業務の流れと電力取引支援システム

電気事業者の電力取引業務の基本業務フローと電力取引支援システムの関係を図示している。日本卸電力取引所（JEPX）に対する電力取引では取引処理（注文作成／入札），取引確認，清算決済，実績レポート作成，実際の需給スケジュール作成等の各業務プロセスがあり，その処理データは社内外の部門・機関と緊密に連携する必要がある。電力取引支援システムは，これら業務の効率化とミスの軽減を目的に設計・開発されている。

*先端技術総合研究所　**神戸製作所